



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月2日

上場会社名 岩崎電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6924 URL <https://www.iwasaki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 義剛
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 庄 慎司 TEL 03-5846-9010
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	22,234	△12.0	129	△69.5	185	△54.4	89	△69.5
2020年3月期第2四半期	25,261	10.6	424	—	406	—	294	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 381百万円 (14.1%) 2020年3月期第2四半期 334百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	11.84	—
2020年3月期第2四半期	38.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	64,015	29,048	45.4	3,826.64
2020年3月期	69,450	28,999	41.7	3,809.58

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 29,034百万円 2020年3月期 28,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	△12.3	1,200	△67.2	1,300	△66.5	700	△73.9	92.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）株式会社つくばイワサキ
（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	7,821,950株	2020年3月期	7,821,950株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	234,592株	2020年3月期	214,141株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	7,588,221株	2020年3月期2Q	7,726,223株

（注）株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
地域別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、設備投資を控える動きが続き、個人消費も落ち込みました。欧米では、経済活動の再開により持ち直しの動きも見られましたが、足元では感染者数が増加しており予断を許さない状況が続いています。一方、中国では、感染症の収束が見られ、設備投資などが持ち直し、景気は緩やかな回復基調となりました。わが国経済は、緊急事態宣言の解除後は経済活動が段階的に再開され、「経済活動維持と感染症拡大抑制の両立」の局面に移行し、景気は持ち直しの動きがみられましたが、設備投資や雇用環境の回復は動きが鈍く、先行きは依然として不透明な状況となりました。

このような環境の中、当社グループは「光テクノロジーを通して豊かな社会と環境を創造する」という企業理念のもと、照明事業と光・環境事業において、これまで培ってきた光技術と関連技術の融合を図り、独自性のある商品提供と、周辺事業を含めたトータルソリューションビジネスの展開を推進しております。当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で企業活動全体が制限を受け、当社グループにおいては在宅勤務や時差出勤などを実施し、生産性の維持、向上に取り組むとともに、WEB会議ツールを使った商品提案を行うなど、拡販に努めてまいりましたが、総じて厳しい状況となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,234百万円（前年同期は25,261百万円で12.0%の減少）、営業利益は129百万円（前年同期は424百万円で69.5%の減少）、経常利益は185百万円（前年同期は406百万円で54.4%の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は89百万円（前年同期は294百万円で69.5%の減少）となりました。

なお、当社グループの売上高、利益は期末に集中する季節的傾向があり、各四半期の売上高および利益は、通期実績の水準に比べ乖離が大きくなっています。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<照明>

照明事業は、国内では、国や地方自治体のリニューアル需要に対応したことで、トンネル器具などの売上高は増加しました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、工場施設や商業施設において設備投資を控える動きが継続し、高天井器具や投光器の売上高は減少となりました。なお、前年同期の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けたインフラ整備需要の反動により、景観、演出などの屋外用照明器具の売上高も減少となりました。海外では、北米は堅調に推移したものの、東南アジア地域は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために企業活動が大きく制限され、伸び悩みました。

これらの結果、売上高は15,864百万円（前年同期は18,621百万円で14.8%の減少）、セグメント利益は1,065百万円（前年同期は1,271百万円で16.2%の減少）となりました。

<光・環境>

光・環境事業は、殺菌関連分野では、感染症の拡大防止に貢献するべく、紫外線殺菌技術を応用した新商品をリリースし、衛生環境の改善に向けた提案活動を推進したことにより、売上高は増加となりました。一方、UVキュア分野、環境試験装置分野では、総じて設備投資の凍結や延期の動きがあり、売上高は低調に推移しました。なお、情報機器分野では、情報表示装置関連で前年同期を上回る件名納入があった他、災害時に備えたインフラ整備の需要に対し、無停電電源装置の訴求を行ったことで、売上高は増加となりました。

これらの結果、売上高は6,388百万円（前年同期は6,677百万円で4.3%の減少）、セグメント損失は57百万円（前年同期はセグメント利益122百万円で179百万円の悪化）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当決算短信に記載されている2021年3月期の業績予想ならびに将来予測に関する記載内容につきましては、いずれも当社および当社グループ会社の事業に関連する業界動向の見直しをはじめ、国内及び諸外国の経済状況、ならびに各種通貨間の為替レートの変動、その他業績に変動を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としております。これらは、市況、競争状況、新商品・新サービスの導入およびその成否、ならびに照明関連産業市場、光・環境産業市場の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高および利益などは、当決算短信に記載されている予想数値と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、現時点における通期の業績予想につきましては、2020年8月3日に公表しました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,261	14,812
受取手形及び売掛金	14,433	9,914
電子記録債権	2,837	1,708
商品及び製品	6,989	8,208
仕掛品	1,593	1,707
原材料及び貯蔵品	4,729	4,914
その他	611	634
貸倒引当金	△33	△33
流動資産合計	47,423	41,867
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,337	9,337
その他(純額)	7,127	6,905
有形固定資産合計	16,465	16,242
無形固定資産	713	583
投資その他の資産	4,847	5,321
固定資産合計	22,026	22,148
資産合計	69,450	64,015
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,582	5,229
電子記録債務	5,870	3,451
短期借入金	830	770
1年内返済予定の長期借入金	900	1,447
未払法人税等	941	219
賞与引当金	794	798
クレーム処理引当金	178	146
その他	2,797	3,045
流動負債合計	19,894	15,109
固定負債		
長期借入金	4,400	3,809
退職給付に係る負債	13,200	13,012
資産除去債務	134	134
その他	2,820	2,901
固定負債合計	20,555	19,857
負債合計	40,450	34,967

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	2,069	2,069
利益剰余金	16,466	16,249
自己株式	△298	△323
株主資本合計	26,877	26,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,546	1,851
土地再評価差額金	2,410	2,410
為替換算調整勘定	△378	△498
退職給付に係る調整累計額	△1,472	△1,364
その他の包括利益累計額合計	2,104	2,398
非支配株主持分	17	14
純資産合計	28,999	29,048
負債純資産合計	69,450	64,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	25,261	22,234
売上原価	17,538	15,081
売上総利益	7,722	7,152
販売費及び一般管理費	7,298	7,023
営業利益	424	129
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	49	56
保険配当金	24	23
その他	25	39
営業外収益合計	102	121
営業外費用		
支払利息	51	43
持分法による投資損失	24	11
為替差損	17	9
事務所移転関連費用	24	—
その他	1	0
営業外費用合計	119	65
経常利益	406	185
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
その他	0	—
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	416	184
法人税等	122	96
四半期純利益	293	88
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	294	89

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	293	88
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77	305
為替換算調整勘定	△112	△103
退職給付に係る調整額	95	108
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△17
その他の包括利益合計	40	293
四半期包括利益	334	381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335	383
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	416	184
減価償却費	748	662
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△67	△188
受取利息及び受取配当金	△51	△59
支払利息	51	43
為替差損益 (△は益)	4	2
持分法による投資損益 (△は益)	24	11
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△0	1
売上債権の増減額 (△は増加)	2,291	5,619
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△857	△1,562
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,713	△4,756
その他	△1,354	328
小計	△499	289
利息及び配当金の受取額	53	59
利息の支払額	△59	△45
法人税等の支払額	△318	△891
営業活動によるキャッシュ・フロー	△823	△588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△383	△299
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△46	△37
投資有価証券の取得による支出	△5	△4
投資有価証券の売却による収入	11	—
その他	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△419	△339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20	△60
長期借入れによる収入	—	107
長期借入金の返済による支出	△150	△150
自己株式の取得による支出	△54	△32
配当金の支払額	△312	△307
その他	△48	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△585	△489
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	△32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,850	△1,449
現金及び現金同等物の期首残高	14,773	16,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,922	14,810

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった株式会社つくばイワサキは当社の特定子会社である株式会社アイ・ライティング・システムを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、原則として、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,609	6,652	25,261	—	25,261
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	25	37	△37	—
計	18,621	6,677	25,298	△37	25,261
セグメント利益	1,271	122	1,393	△969	424

(注) 1. セグメント利益の調整額△969百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,852	6,381	22,234	—	22,234
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	7	19	△19	—
計	15,864	6,388	22,253	△19	22,234
セグメント利益又は損失(△)	1,065	△57	1,008	△879	129

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△879百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

地域別売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
21,782	1,966	1,357	154	25,261

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
19,222	2,162	736	111	22,234

以上